

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【公開番号】特開2014-140487(P2014-140487A)  
 【公開日】平成26年8月7日 (2014.8.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-042  
 【出願番号】特願2013-10632(P2013-10632)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 A

A 6 1 B 3/10 R

G 0 1 N 21/17 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月14日 (2016.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源から発せられた光を被検眼上で走査するための光スキャナと、前記光源から発せられた測定光と参照光との干渉信号を検出する検出器と、を有し、前記被検眼の断層画像を得るための干渉光学系と、

被検眼を照明する照明光学系と、被検眼からの反射光を受光する受光光学系と、を有し、前記受光光学系からの受光信号に基づいて被検眼の正面画像を取得する観察光学系と、

前記観察光学系によって取得された前記正面画像上において設定された取得位置での前記断層画像が取得されるように、前記正面画像に基づいて、前記光スキャナを制御して、前記測定光の走査位置を補正する駆動制御手段と、

を備える眼科撮影装置であって、

前記駆動制御手段による制御の実行の可否を判定するための評価情報を前記正面画像に基づいて算出する評価情報算出手段と、

前記評価情報算出手段によって算出された算出結果を出力する出力手段と、

を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼科撮影装置において、

さらに、前記評価情報算出手段によって算出された前記評価情報に基づいて前記駆動制御手段による制御の実行の可否を判定する判定手段を備え、

前記出力手段は、前記算出結果として、前記評価情報算出手段によって算出された前記評価情報と、前記判定手段による判定結果に関する情報と、の少なくとも一方の情報を出力することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 3】

光源から発せられた光を被検眼上で走査するための光スキャナと、光源から発せられた測定光と参照光との干渉信号を検出する検出器と、を有し、被検眼の断層画像を得るための干渉光学系と、

被検眼を照明する照明光学系と、被検眼からの反射光を受光する受光光学系と、を有し、前記受光光学系からの受光信号に基づいて被検眼の正面画像を取得する観察光学系と、前記観察光学系によって取得された前記正面画像上において設定された取得位置での前記断層画像が取得されるように、前記光スキャナを制御し、走査位置を補正する駆動制御手段と、

を備える眼科撮影装置の動作を制御する制御装置において実行される眼科撮影プログラムであって、

前記制御装置のプロセッサによって実行されることで、

前記駆動制御手段による制御の実行の可否を判定するための評価情報を前記正面画像に基づいて算出する評価情報算出ステップと、

前記評価情報算出ステップによって算出された算出結果を出力する出力ステップと、

を前記制御装置に実行させることを特徴とする眼科撮影プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(１) 本発明の第１態様に係る眼科撮影装置は、光源から発せられた光を被検眼上で走査するための光スキャナと、前記光源から発せられた測定光と参照光との干渉信号を検出する検出器と、を有し、前記被検眼の断層画像を得るための干渉光学系と、被検眼を照明する照明光学系と、被検眼からの反射光を受光する受光光学系と、を有し、前記受光光学系からの受光信号に基づいて被検眼の正面画像を取得する観察光学系と、前記観察光学系によって取得された前記正面画像上において設定された取得位置での前記断層画像が取得されるように、前記正面画像に基づいて、前記光スキャナを制御して、前記測定光の走査位置を補正する駆動制御手段と、を備える眼科撮影装置であって、前記駆動制御手段による制御の実行の可否を判定するための評価情報を前記正面画像に基づいて算出する評価情報算出手段と、前記評価情報算出手段によって算出された算出結果を出力する出力手段と、を備えることを特徴とする。

(２) 本発明の第２態様に係る眼科撮影プログラムは、光源から発せられた光を被検眼上で走査するための光スキャナと、光源から発せられた測定光と参照光との干渉信号を検出する検出器と、を有し、被検眼の断層画像を得るための干渉光学系と、被検眼を照明する照明光学系と、被検眼からの反射光を受光する受光光学系と、を有し、前記受光光学系からの受光信号に基づいて被検眼の正面画像を取得する観察光学系と、前記観察光学系によって取得された前記正面画像上において設定された取得位置での前記断層画像が取得されるように、前記光スキャナを制御し、走査位置を補正する駆動制御手段と、を備える眼科撮影装置の動作を制御する制御装置において実行される眼科撮影プログラムであって、前記制御装置のプロセッサによって実行されることで、前記駆動制御手段による制御の実行の可否を判定するための評価情報を前記正面画像に基づいて算出する評価情報算出ステップと、前記評価情報算出ステップによって算出された算出結果を出力する出力ステップと、を前記制御装置に実行させることを特徴とする。